

カリキュラム区分		4カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門科目	219	2年	後期	看護学科	必修	小児看護対象論 Child Health Nursing	15	1
担当教員								
豊田 ゆかり	藤原 紀世子							
関連するDPキーワード（看護学科）								
<input type="radio"/>	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
<input type="radio"/>	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
<input type="radio"/>	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
小児看護の対象となる子どもと家族を支援するために必要な知識を理解する。家族や生活環境の問題が子どもの心身の発達に及ぼす影響や子どもと家族の健康生活に関連する制度について理解し、看護職として必要な考え方を身につける。地域包括ケアの考え方を理解し、家族看護の視点から必要な支援について考える。								
到達目標（授業目標）								
①子どもの権利について理解し、小児看護を行う上で子どもの権利を守る看護職の対応について考えることができる。								
②小児看護の対象である子どもと家族の健康レベルに応じたの保健活動・公的医療制度を理解し、看護職として必要な情報を伝える方法を考えることができる。								
③地域包括ケアの視点から、支援の必要な小児に対してライフサイクルやライフイベントに応じた保健・医療・福祉・教育の連携について考えることができる。								
④在宅で生活する医療的ケア児における必要な支援について家族看護（きょうだい支援、ヤングケアラー、災害支援等）の視点から考えることができる。⑤小児看護において重要な倫理的判断について考えることができる。								
回								
授業計画（項目・内容と方法・担当者）								
1回	小児看護の対象：子どもと家族 子どもの権利条約を理解し、子どもの権利を守ることの重要性について考えることができる（豊田ゆかり）							
2回	子どもの健康を支援するために必要な知識1）：母子保健活動を理解し、健康レベルに応じた支援を考えることができる（豊田ゆかり）							

3回	子どもの健康を支援するために必要な知識2)：支援の必要な小児と家族についての社会資源を理解し、地域包括ケアの考え方を身につける（豊田ゆかり）
4回	小児看護における家族看護（1）：きょうだい支援とヤングケアラーについて理解し、支援のあり方を考えることができる（藤原紀世子）
5回	小児看護における家族看護（2）：在宅で生活する医療的ケアについて理解し、必要な支援について考えることができる（豊田ゆかり）
6回	小児看護における家族看護（3）：在宅で生活する医療的ケアについて理解し、災害時に備えた自助・共助・公助について考えることができる（豊田ゆかり）
7回	公的医療及び福祉制度について：病気や障害のある子どもと家族の生活を支える公的料助成制度、福祉サービスについて理解し、必要な支援に結び付けることができる知識を身につける（豊田ゆかり）
8回	臨床場面における倫理的判断：倫理的課題に関する指針を事例を通して理解し、倫理的行動ができるための考え方を身につける（豊田ゆかり）
9回	
10回	
11回	
12回	
13回	
14回	
15回	
16回	
17回	
18回	
19回	
20回	
21回	
22回	
23回	
24回	
25回	
26回	
27回	
28回	
29回	
30回	

成績評価方法及び基準

小テスト（20%） 課題レポート（50%） 授業に対する取り組み（30%）。トータル60点以上を合格とする。

教科書	中野綾美編：小児の発達と看護,メディカ出版
参考図書等	母子健康手帳（授業の時に紹介します）

授業時間外の学習について（授業準備のための指示）

予習・復習のための課題を出します。課題内容は授業の時にお知らせします。提出期限も状況に応じて説明します。課題未提出及び期限に間に合わない場合は成績評価に影響します。小テストは授業が理解できているかの確認のために実施します。

関連科目

前科目	220	小児保健	167	保健医療福祉行政論					
後科目	232	家族看護論	243	災害看護学Ⅰ					

実務家教員

保健師（行政機関）	豊田 ゆかり					
看護師（医療機関）	藤原 紀世子					
備考						